

New! 東大野球部

メールマガジン Vol.52

ついでに

夏空がまぶしい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

大学ではテスト期間に入り、部員はテスト勉強に追われながらも、毎日練習に励んでおります。テストが終わると、すぐに合宿が始まります。秋のリーグ戦での勝利に向けて、しっかりと力をつけて参ります。今後とも温かいご声援の程、よろしくお願ひ申し上げます。

今後の予定

＜夏季オープン戦＞※全て試合開始13時です

7月28日 SA 一橋大@東大球場

8月 3日 SA 福岡工業大@福岡工大G

4日 SA 鉄腕硬式野球倶楽部@東大球場

7日 SA 三菱重工長崎@かきどまり球場

8日 SA 日本ウェルネススポーツ専門学校

@東大球場

＜七大戦＞

8～10日 七大戦@春日球場

僕の野球人生①

今回から、4年生部員に「僕の野球人生」と題して、今までの自らの野球人生を振り返って思う事や、野球への想い等を語ってもらいます。第1回目は、香取選手と山崎学生コーチを特集いたします。

山崎 彬（4年・学生コーチ・国立）

野球との出会いは小学2年生でした。友達がやっていたから、という単純な理由で始めた野球に段々とハマっていき、進学先選びは全て野球を中心に考えていました。

私の野球人生にもっとも影響を与えたのは高校の監督です。野球の面白さ、奥深さをあらゆる面から教えて下さいました。その中でも「野球はメンタルなスポーツだ」という言葉が自分の中で生き続けています。これは、投手や野手の心理状態やイメージトレーニング、また普段の生活態度がプレーに影響を与える、ということなのですが、高校3年間で野球は技術だけではないことを強く実感したものです。

我が野球人生に悔いなし、と言えるかどうかは、秋の結果にかかっていると考えています。そのためにも、この夏頑張っていきたいと思います。



香取 潤一（4年・投手・筑波大駒場）

野球を始めたのは小学校1年生でした。父が野球をやっていたわけでもなく、周りに野球をやる友達が多いわけでもなく。でも小さいころから夜はテレビで野球観戦、迷うことなく少年野球を選んだことを覚えています。

そんなことで始めた野球ですが、今年でなんと16年目になるそうです。

大学に入ったときも神宮ごうごうというより、他の選択肢なんて頭になく何も考えず野球部に入部していました。どうやら腐れ縁のようです。

高校まではやめようと一度も思わなかった僕ですが、大学に入ってから幾度となく壁にぶつかって、何度もやめようと思いましたが、苦しかった分今まで一番上手くなったこの4年間でした。こんなこと言つと怒られるかもしれませんが、もう少しでやっと解放されるという気持ちもあります。

「4年間頑張つて苦しかったけど、人間として成長できた！」なんて晴ればれしくはないのですが、自分にとってきつと必要な4年間だったと思います。

まだ、出来る。がもうない大学野球部卒部。ちよっぴのさみしいですね。



次回は岩瀬選手と駒宮学生コーチを特集致します。お楽しみに！



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

山崎学生コーチも言っています。4年生には「わが野球人生に悔いなし」といえるように、秋のリーグに向けて、最後の夏の練習に取り組んでほしいと思っています。

オープン戦も選手一同がんばって参りますので、皆様ぜひ球場へ足をお運びください！

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘1-5-9 誠寮

TEL & FAX 03 (3811) 5100

メールアドレス office@tokyo-boc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等
ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

